

工 学 部	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 推薦人員について、1校あたりの人数制限はありません。
共 通	(注) ① 高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。 ② 「平成29年3月に卒業見込みの者」には、「平成28年4月以降に卒業した者」を含みます。

2. 出 願 手 続

(注) この項目に記載されている内容は、紙による出願に関するものです。インターネットを利用した出願方法については、別添の冊子をご覧ください。

〔1〕出 願 期 間

学 部 等	期 間
法 学 部 経 済 学 部	平成29年1月16日（月）から1月20日（金）まで
医学部医学科	平成28年11月1日（火）から11月8日（火）まで
工 学 部	平成29年1月16日（月）から1月20日（金）まで

〔2〕出 願 方 法

入学志願者は〔5〕の出願書類等を取りそろえ、本要項添付の「出願用封筒」に必要事項を記入の上、下表の各志望学部提出先に、出願期間最終日の17時まで**に必着**（郵送期間を十分考慮してください。）するよう、必ず「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。出願期間最終日の17時以降に着いた場合は、前々日までの消印（【医学部医学科】は11月6日（日）、【法学部】、【経済学部】、【工学部】は1月18日（水）の消印）があり、かつ「簡易書留・速達郵便」であるものに限り受け付けます。

なお、出願期間最終日の「9時から17時まで」に限り、持参による出願を認めます。

〔3〕出 願 書 類 等 提 出 先

志望学部	提 出 先	所 在 地
法 学 部	法学部・経済学部学務第一係 （法学部担当）	〒760-8523 高松市幸町2番1号 TEL (087) 832-1806
経済学部	法学部・経済学部学務第二係 （経済学部担当）	〒760-8523 高松市幸町2番1号 TEL (087) 832-1813
医 学 部 医 学 科	医学部総務課学務室 大学院・入学試験係	〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750番地1 TEL (087) 891-2074
工 学 部	工学部学務係	〒761-0396 高松市林町2217番地20 TEL (087) 864-2015

〔4〕出願に関する注意事項

- (1) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課する推薦，免除する推薦を含めて）への出願は，1つの大学・学部に限られます。
- (2) 法学部「推薦Ⅰ（大学入試センター試験を免除する推薦入試）」志願者は，法学部「推薦Ⅰ」に不合格になった場合でも，法学部が実施する「推薦Ⅱ（大学入試センター試験を課する推薦入試）」に出願することができます（他学部出願者は不可）。
- (3) 経済学部「推薦Ⅰ（大学入試センター試験を免除する推薦入試）」志願者は，経済学部「推薦Ⅰ」に不合格になった場合でも，経済学部が実施する「推薦ⅡAまたは推薦ⅡB（大学入試センター試験を課する推薦入試）」に出願することができます（他学部出願者は不可）。
- (4) 工学部「推薦Ⅰ（大学入試センター試験を免除する推薦入試）」志願者は，工学部「推薦Ⅰ」に不合格になった場合でも，工学部が実施する「推薦Ⅱ（大学入試センター試験を課する推薦）」に出願することができます（他学部出願者は不可）。
- (5) この推薦入試に不合格になった場合に備えて，前期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，後期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，合計3つの大学・学部に出願することができます。
- (6) 1. 出願書類が不備の場合は受理できません。
2. 出願書類提出後は，記載内容の変更を認めません。
3. 払込済の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。
① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
※上記①又は②に該当される方は，香川大学入試グループTEL(087)832-1182へご連絡ください。
- (7) 熊本地震により被災した平成29年度香川大学学部入学志願者の検定料の免除について
熊本地震により被災し，以下の対象者のいずれかに該当すると思われる志願者で，検定料の免除を希望される方は，事前に香川大学入試グループに連絡してください。検定料免除対象者に該当すると判断された場合は，個別に本学所定の様式を送付しますので，申請書類を出願書類とともに提出してください。
(対象者)
① 主たる家計支持者が，平成28年度に災害救助法適用地域において被災し，自宅家屋が全壊、大規模半壊又は流出した方
② 主たる家計支持者が地震により死亡又は行方不明の場合

〔5〕出 願 書 類 等 （①から⑧を取りそろえ提出してください。）

出 願 書 類 等	注 意 事 項	チェック欄
① 入 学 願 書	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。	
② 志 望 理 由 書 (経済学部志願者は不要)	本学所定の用紙を用いて志願者本人が直筆で記入してください。	
③ 県民医療推進枠志望理由書 (医学部医学科県民医療推進枠志願者のみ)	本学所定の用紙を用いて志願者本人が直筆で記入してください。	
④ 大学入試センター試験成績請求票 ※医学部医学科志願者	入学願書所定の欄に，「平成29センター試験成績請求票（国公立推薦入試用）」を貼付してください。 「平成29センター試験成績請求票（国公立推薦入試用）」が届き次第，医学部 出願書類等提出先（P5）へ簡易書留・速達で送付してください（この場合の封筒は各自で用意してください。）。	
⑤ 推 薦 書	本学所定の用紙を用いて出身学校長が作成し，厳封してください。（本学ホームページからダウンロードした様式を用いて，パソコン等で作成しても構いません。）	
⑥ 調 査 書	出身学校長が作成し，厳封してください。	
⑦ 資格及び活動歴調査票 (経済学部志願者のみ)	本学所定の用紙を用いて志願者本人が直筆で記入し，担任教諭が確認してください。資格の取得，あるいは大会，コンクール等での成績を証明する認定証，表彰状のコピー（縮小コピー可）を添付してください。	
⑧ 検 定 料 17,000円	入学願書と一連の「振込依頼書（入金票）」及び「領収書」に必要事項を記入の上，下記のそれぞれの期間内に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く。）の窓口で所定の検定料を振り込んでください（ATMは利用できません。また，振込手数料は振込人負担です。）。その際，必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。 (注) 通常，金融機関の窓口取扱時間は，平日の15時までです。また，土曜日，日曜日および祝日は休業となりますので注意してください。 【医学部医学科】平成28年10月25日(火)～11月8日(火) 【法学部】，【経済学部】，【工学部】平成29年1月6日(金)～1月20日(金)	

⑨	写 真	出願以前6か月以内に撮影したものを、入学願書と一連の写真票に貼付してください（写真裏面に氏名・志望学部を記入してください。）。	
⑩	受験票又は願書受理票 送 付 用 封 筒	本学所定の封筒に志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、372円分の郵便切手を貼付してください。	
⑪	あて名票	学校長あて 本学所定の用紙に、推薦する学校長の学校名、所在地、郵便番号及び電話番号を記入してください。	
	本人あて	本学所定の用紙に、志願者の氏名、合格通知書を受け取る際の住所、郵便番号及び電話番号を記入してください。	

(注) 「出願用封筒(本要項に添付)」を使用して提出してください。

3. 選 抜 方 法

〔1〕大学入試センター試験の利用教科・科目等

大学入試センター試験の利用教科・科目及び利用方法は、別表(10～11ページ)のとおりです。

大学入試センター試験の理科②の試験時間において、2科目を受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。

〔2〕個別学力検査等の実施教科・科目等 (医学部医学科のみ)

個別学力検査等の実施教科・科目等及び学部ごとの選抜方法は、別表(10～11ページ)のとおりです。

〔3〕大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等は、別表(10～11ページ)のとおりです。

〔4〕各学部の選抜方法等について

【法 学 部】

- ・ 調査書、志望理由書及び大学入試センター試験の総合点により選抜します。
- ・ 大学入試センター試験で、数学、外国語の2教科を受験している場合には、高得点の教科の成績を用います。
- ・ 大学入試センター試験で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- ・ 調査書については、地歴・公民の成績を重視し、さらに学業以外の活動についても評価します。

【経済学部】

- ・ 調査書(評定平均値は出願要件であり特記事項のみを評価します。)及び大学入試センター試験の総合点により選抜します。
- ・ 大学入試センター試験で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。
- ・ 「調査書の特記事項」
調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるもののことです。文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。なお、文化活動及びスポーツ活動については、主催団体名と個人種目か団体種目かの別を明記してください。また、検定試験については、主催団体名を明記してください。